



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 富士古河E&C株式会社

コード番号 1775

URL <http://ffec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎井 丈一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 小田 茂夫 (TEL) 044-548-4500

四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	51,650	8.6	2,347	57.8	2,365	55.9	1,609	76.4
28年3月期第3四半期	47,568	6.9	1,487	61.5	1,517	32.6	912	29.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,436百万円( 57.3%) 28年3月期第3四半期 913百万円( △2.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	35.79	—
28年3月期第3四半期	20.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	44,057	15,874	34.6
28年3月期	47,627	14,841	29.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 15,248百万円 28年3月期 14,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,500	0.1	3,700	0.2	3,700	△0.5	2,350	12.3	52.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	45,132,809株	28年3月期	45,132,809株
29年3月期3Q	159,584株	28年3月期	158,424株
29年3月期3Q	44,974,103株	28年3月期3Q	44,977,486株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(セグメント別受注高・売上高・営業損益・受注残高)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善傾向にあるなど、緩やかな回復基調が続きました。一方で、米国の政権移行の影響や、新興国経済の下振れ懸念など、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループの属する設備工事業界におきましては、堅調であった設備投資に低調な動きも見られ、熾烈な受注価格競争が続くなど、厳しい環境で推移しました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高569億円（前年同期比4.6%減）、売上高516億円（前年同期比8.6%増）となりました。利益面では、売上高の増加に加え、コストダウンの推進により、営業利益23億47百万円（前年同期比57.8%増）、経常利益23億65百万円（前年同期比55.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益16億9百万円（前年同期比76.4%増）となりました。

当社グループは、平成28年5月に発表しました中期経営計画『POWER UP E&C 2018』の達成に向けて、成長市場への戦略的な取り組み、セグメントの融合による新たな事業領域の創出、海外事業の基盤強化、より良い企業風土の醸成と適切な経営資源の投資を重点施策とし、持続的発展に向けた更なる変革と経営基盤の強化に取り組んでおります。

セグメント別の状況につきましては、次のとおりであります。

## [プラント事業]

当セグメントにおいては、社会インフラ工事、産業システム工事、並びに太陽光以外の発電設備工事を行っており、受注高は167億円（前年同期比4.5%減）、売上高は141億円（前年同期比23.4%増）、営業利益は10億45百万円（前年同期比79.4%増）となりました。

受注高は社会インフラ工事および産業システム工事の減少により前年同期を下回りました。売上高、営業損益は工事量の増加により前年同期を上回りました。

## [空調設備事業]

当セグメントにおいては、産業プロセス空調設備工事、一般空調・衛生設備工事を行っており、受注高は156億円（前年同期比22.9%増）、売上高は136億円（前年同期比0.6%増）、営業利益は8億45百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

受注高は産業プロセス空調設備工事の増加により前年同期を上回りました。売上高は前年同期並みに推移しましたが、営業損益はコストダウンに努めたことから前年同期を上回りました。

## [電設・建築事業]

当セグメントにおいては、電気設備工事、建築・土木工事、並びに太陽光発電設備工事を行っており、受注高は134億円（前年同期比36.1%減）、売上高は156億円（前年同期比5.5%増）、営業利益は19億26百万円（前年同期比110.6%増）となりました。

受注高は前期に電気設備工事の大型案件があったことから前年同期を下回りました。売上高、営業損益は電気設備工事の大型案件の完成に加え、コストダウンに努めたことから前年同期を上回りました。

## [電力・情報流通事業]

当セグメントにおいては、電力送電工事、情報通信工事を行っており、受注高は40億円（前年同期比8.2%増）、売上高は29億円（前年同期比0.0%減）、営業利益は51百万円（前年同期比64.2%増）となりました。

受注高は電力送電工事の増加により前年同期を上回りました。売上高は前年同期並みに推移しましたが、営業損益はコストダウンに努めたことから前年同期を上回りました。

[海外事業]

当セグメントにおいては、海外における設備工事を行っており、受注高は57億円（前年同期比72.6%増）、売上高は37億円（前年同期比5.9%増）、営業損失は1億98百万円（前年同期は2億61百万円の営業利益）となりました。

受注高はカンボジア、ミャンマーが好調に推移したことから前年同期を上回りました。売上高はミャンマーの工事量の増加などにより前年同期を上回りましたが、営業損益は受注価格競争の激化に伴う工事の採算性低下などにより前年同期を下回りました。

[その他]

当セグメントにおいては、物品販売および補修・修理等のサービス事業を行っており、受注高は14億円（前年同期比1.8%減）、売上高は14億円（前年同期比25.1%増）、営業利益は2億65百万円（前年同期比53.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ35億円減少し、440億円となりました。主な要因は受取手形・完成工事未収入金等の減少（69億円）、未成工事支出金の増加（28億円）であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ46億円減少し、281億円となりました。主な要因は支払手形・工事未払金等の減少（54億円）、未払法人税等の減少（7億円）、未成工事受入金の増加（22億円）、退職給付に係る負債の減少（4億円）であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ10億円増加し、158億円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上（16億円）、配当金の支払（3億円）、非支配株主持分の減少（1億円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年10月26日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	3,547	3,621
受取手形・完成工事未収入金等	33,047	26,067
未成工事支出金	2,411	5,278
材料貯蔵品	311	215
その他	3,058	3,818
貸倒引当金	△293	△270
流動資産合計	42,082	38,729
固定資産		
有形固定資産	1,880	1,885
無形固定資産		
その他	867	873
無形固定資産合計	867	873
投資その他の資産		
その他	2,952	2,757
貸倒引当金	△156	△188
投資その他の資産合計	2,796	2,569
固定資産合計	5,544	5,327
資産合計	47,627	44,057
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	21,615	16,215
短期借入金	26	193
未払法人税等	1,495	765
未成工事受入金	1,584	3,863
完成工事補償引当金	123	202
工事損失引当金	623	652
その他	2,641	2,070
流動負債合計	28,110	23,962
固定負債		
退職給付に係る負債	4,030	3,616
その他	644	604
固定負債合計	4,675	4,221
負債合計	32,785	28,183

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,970	1,970
資本剰余金	6,703	6,703
利益剰余金	6,428	7,652
自己株式	△26	△26
株主資本合計	15,074	16,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82	140
為替換算調整勘定	△37	△212
退職給付に係る調整累計額	△1,044	△977
その他の包括利益累計額合計	△999	△1,049
非支配株主持分	765	625
純資産合計	14,841	15,874
負債純資産合計	47,627	44,057



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	47,568	51,650
売上原価	41,020	43,928
売上総利益	6,548	7,722
販売費及び一般管理費	5,060	5,375
営業利益	1,487	2,347
営業外収益		
受取利息	9	15
受取配当金	12	11
保険解約返戻金	35	10
投資有価証券売却益	2	12
その他	18	17
営業外収益合計	78	66
営業外費用		
支払利息	5	22
コミットメントフィー	6	6
為替差損	27	13
その他	8	6
営業外費用合計	48	47
経常利益	1,517	2,365
特別損失		
投資有価証券評価損	40	-
特別損失合計	40	-
税金等調整前四半期純利益	1,477	2,365
法人税等合計	507	784
四半期純利益	969	1,580
非支配株主に帰属する四半期純利益	56	△28
親会社株主に帰属する四半期純利益	912	1,609

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	969	1,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	57
為替換算調整勘定	△167	△269
退職給付に係る調整額	73	67
その他の包括利益合計	△56	△144
四半期包括利益	913	1,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	933	1,559
非支配株主に係る四半期包括利益	△20	△122

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	プラント 事業	空調設備 事業	電設・建築 事業	電力・ 情報流通 事業	海外事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	11,424	13,547	14,859	3,001	3,562	46,395	1,173	47,568	—	47,568
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	—	—	—	—	6	6	12	△12	—
計	11,431	13,547	14,859	3,001	3,562	46,401	1,179	47,581	△12	47,568
セグメント 利益又は損失(△)	582	738	914	31	261	2,528	173	2,702	△1,214	1,487

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売及び補修・修理等のサービス部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,214百万円は、主に全社共通部門にかかる費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	プラント 事業	空調設備 事業	電設・建築 事業	電力・ 情報流通 事業	海外事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	14,103	13,629	15,677	2,999	3,772	50,183	1,467	51,650	—	51,650
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	—	—	0	7	7	△7	—
計	14,103	13,629	15,677	2,999	3,772	50,183	1,474	51,658	△7	51,650
セグメント 利益又は損失(△)	1,045	845	1,926	51	△198	3,669	265	3,935	△1,588	2,347

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売及び補修・修理等のサービス部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,588百万円は、主に全社共通部門にかかる費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

(セグメント別受注高・売上高・営業損益・受注残高)

区分			前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		前年同期 増減	
			金額 (百万円)	※ 構成比・ 利益率 (%)	金額 (百万円)	※ 構成比・ 利益率 (%)	金額 (百万円)	
受注高	報告セグメント	プラント事業	17,556	29.4	16,760	29.5	△796	
		空調設備事業	12,699	21.3	15,608	27.4	2,908	
		電設・建築事業	20,960	35.1	13,400	23.5	△7,560	
		電力・情報流通事業	3,751	6.3	4,060	7.1	309	
		海外事業	3,304	5.5	5,703	10.0	2,399	
		小計	58,272	97.6	55,533	97.5	△2,738	
	その他	1,439	2.4	1,413	2.5	△25		
計			59,711	100.0	56,947	100.0	△2,764	
売上高・ 営業損益	報告セグメント	プラント事業	売上高	11,424	24.0	14,103	27.3	2,678
			営業損益	582	(5.1)	1,045	(7.4)	462
		空調設備事業	売上高	13,547	28.5	13,629	26.4	81
			営業損益	738	(5.5)	845	(6.2)	107
		電設・建築事業	売上高	14,859	31.2	15,677	30.4	818
			営業損益	914	(6.2)	1,926	(12.3)	1,011
		電力・情報流通 事業	売上高	3,001	6.3	2,999	5.8	△1
			営業損益	31	(1.0)	51	(1.7)	20
		海外事業	売上高	3,562	7.5	3,772	7.3	209
			営業損益	261	(7.4)	△198	(—)	△460
		小計	売上高	46,395	97.5	50,183	97.2	3,787
			営業損益	2,528	(5.5)	3,669	(7.3)	1,141
		その他	売上高	1,173	2.5	1,467	2.8	294
			営業損益	173	(14.8)	265	(18.1)	92
	調整額	売上高	—	—	—	—	—	
		営業損益	△1,214	(—)	△1,588	(—)	△373	
計	売上高	47,568	100.0	51,650	100.0	4,081		
	営業損益	1,487	(3.1)	2,347	(4.5)	859		
受注残高	報告セグメント	プラント事業	17,956	33.1	16,239	32.3	△1,716	
		空調設備事業	11,623	21.4	11,935	23.8	311	
		電設・建築事業	19,076	35.1	11,866	23.6	△7,210	
		電力・情報流通事業	2,388	4.4	4,395	8.7	2,007	
		海外事業	2,889	5.3	5,542	11.0	2,652	
		小計	53,935	99.3	49,979	99.4	△3,955	
	その他	398	0.7	304	0.6	△93		
計			54,333	100.0	50,283	100.0	△4,049	

※1. 受注高・売上高・受注残高については構成比を表示しております。

※2. 営業損益は利益率を括弧で表示しております。